

相應ニ應接可仕候ニ付此段御舎ニ可被成候猶
支那平定ニ付加藤次郎申立ノ趣ニ有之岡山縣
生徒ハ從當地令歸京候間此段ニ御承知可被遣
候時下追々寒冷隨時御保養為
邦家奉祈念候心事勿々恐惶頓首

明治七年十一月十四日 河北俊弼

大隈參議殿

閣下

七年十一月廿二日

長宮大隈

御用掛

轍輔

野口

平井

河野

辻新次歸京届供回覽候也

蕃地事務局

長崎醫学校貴局へ引渡之為メ出張致シ去月三十一日悉皆御引渡濟相成歸京致候此段一應及御報知候也

文部省学務課長

明治七年十一月廿日 辻 新 次

蕃地事務局御用掛

平井外務少丞殿

蕃地事務局

藩地事務局

七年十一月廿二日

即日施行

長官 大隈

御用掛 野口

野口

河野

大倉喜八郎ヨリ別紙之通願出候處左案之通り
御指令相成可然哉相伺候也

書面輕症ノ病者入院ノ儀ハ難聞届尤申立
ノ次第無餘儀相聞候ニ付特別ノ詮議ヲ以
此度限リ為藥種料一人ニ付金貳圓宛合金

藩地事務局